

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

視察日時 令和6年7月10日（水）～7月12日（金）

視察参加者 自民新未来 田口憲雄議員 森川武治議員

こども未来会 吉野誠

## 【視察】愛知県東海市

目的: ホテル等の誘致について

住所: 愛知県東海市中央町一丁目1番地

内容: ホテル等の誘致施策とその効果についての視察

## 【現地視察】円頓寺商店街

目的: 空き店舗を活用した商店街活性化について

## 【現地視察】豊田産業技術記念館

目的: 繊維機械や自動車技術等の産業技術の変遷について

住所: 名古屋市西区則武新町4-1-35

## 【現地視察】かわらまち夜間保育園

目的: 夜間保育所について

住所: 名古屋市中区金山1-2-27

内容: 夜間保育の運営方法や利用状況について

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

## ホテル等の誘致について

### 東海市の概要

#### 1. 市の歴史と位置

東海市は、上野町と横須賀町が合併して 55 周年を迎えた。知多半島の付け根に位置し、中部国際空港（セントレア）と名古屋市の間にあり、交通の便が非常に良い地域。

#### 2. 地理と人口

面積: 43.43 平方キロメートル

人口: 約 11 万 3 千人（近年減少傾向、毎年約 1,000 人減少）

#### 3. 農業・産業

東海市は「鉄と蘭の街」として知られている。主な農作物としてふき、玉ねぎ、洋ラン。主要産業は鉄鋼業。日本製鉄、愛知製鉄、大同特殊鋼、坂角総本舗、ユー・エス・エス、コラ・コーラボトラーズジャパン、トヨフジ海運、そしてカゴメの創業地でもある

## ホテル等の誘致施策の背景・経緯

### 背景

平成 15 年に国が「ビジット・ジャパンプロジェクト」をスタートし、訪日外国人観光客の増加が期待されるようになった。特に 2026 年のアジア競技大会が愛知・名古屋で開催される予定で、国際的なビッグイベントによる訪日外国人の増加が見込まれている。観光交流を産業の一つとして捉え、東海市でも観光客誘致のための施策が必要とされるようになった。

### 経緯

東海市は、東京・大阪という観光のゴールデンルートの中継ポイントとして、主に中国からの団体観光客が名古屋及び周辺地域に多く宿泊することがわかった。市内には

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

460 室しかなかったにも関わらず、宿泊者数が愛知県内のベスト 10 に入ったことから、当時の市長はこの可能性に着目した。市内企業への出張客も市内に宿泊せず、食事などの消費が他地域に流出している状況を改善するための施策が求められた。

東海市は、以下のような地域資源のブラッシュアップを図り、観光客や出張客にとって魅力的な宿泊環境を整備することを目指している。

## 1. 地域資源のブラッシュアップ

- **工場見学&夜景遊覧クルーズ**: 東海市の工業地帯を生かした観光資源。
- **桜まつり**: イルミネーションデザイナーとの協力で夜の桜をライトアップし、キッチンカーなどがきて賑わうようになった。
- **聚楽園大仏のライトアップ**: 夜間観光の充実を図るための施策。
- **市内での宿泊環境の整備**: 宿泊施設の充実を図り、観光客や出張客が快適に滞在できる環境を提供。

## 2. ホテル等の優遇制度の概要

- **条例制定**: 平成 28 年に市長が強く要望し、条例化が実現。
- **宿泊施設の目標**: 2027 年までに宿泊室数を 1500 室に増やす目標を掲げている。

## 3. 具体的な実績

- **AB ホテル東海太田川**: 新設されたビジネスホテルの一例。
- **ルートイングランティア東海 (210 室)**: 旧市民病院跡地に誘致され、市内の宿泊室数は合計約 800 室に増加。

既存ホテルに対しての課題

リーマンショックなどの経済不況時に最も影響を受けた既存ホテルに対する支援が不十分であったことが指摘され、改修費補助金を実施した

東海市ホテル改修費補助金: 平成 31 年から令和 5 年までの 5 年間限定で実施された補助金制度。年間予算は 4200 万円。

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

## 主な質疑

Q.一般会計はどのくらいあるのか、そのうち自主財源は

A.令和5年度591億（一般会計予算）そのうち自主財源が約290億

Q.雇用に係る補助金はあるか

A.ホテルの雇用にについて係る補助金は今のところない、それを条件にしなかった理由や背景はわからないが、他の製造業に比べるとフルタイムの職員確保というのは効果が薄いと考えられているのではないかと。どちらかというとな短時間で働ける受け皿にはなるように思う

Q.事業者とのコミュニケーションや協力体制はあるか

A.もともとあった市内のホテルはどちらかというとな労働者向けのホテルだった、イベント情報などを伝えてもなかなか協力してもらえるような感じにはならなかった。誘致したホテルは観光協会に加盟して貰って、こちらの情報を共有しやすい形になっている。しかし、イルミネーションや桜祭りなどが直接宿泊者に繋がっているかというとな、宿泊者増は別の要因の方が多いように思う。

## 所感

東海市のホテル等誘致施策は、水俣市にとって参考になる点が多いものの、財政面での制約が大きな課題となる。この課題に対応するためには、国や県の補助金・助成金の活用、および地元企業との連携強化が不可欠。企業のCSR活動の一つに組み込む事なども考えられないだろうか。これらを通じて地域資源を最大限に活用した観光振興と宿泊施設の整備を進めることが肝要である。

宿泊施設の誘致・整備にあたっては、多角的な視点からの検討が必要である。具体的には、以下のような点を考慮すべきではないか

宿泊施設の種類と需要の関係：人数や価格帯によって、求められる施設が異なる。

利用目的に応じた施設の特長：スポーツ合宿や観光など、目的によって求められる宿泊施設の特長が変わる。

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

助成効果の最大化：どの種類の宿泊施設に助成することが、最大の波及効果をもたらすか。事業主の視点からは、利用者の需要見込みが施設建設の決め手となる。そのため、水俣市としては

1. 具体的な需要の提示
2. 水俣市に宿泊する具体的な理由や魅力の発信

これらの点を重点的に取り組むことが重要である。

また、公的資金を用いた支援を行う場合、宿泊客の予想される消費行動まで考慮に入れる必要がある。東海市の事例では、東京-大阪間の観光ルートにおける愛知県の地理的優位性が大きな魅力となっている。一方、水俣市の場合、交通の要衝としての利点は薄いため、水俣市自体を目的地とする観光客や訪問者を増やす戦略が求められる。このように、地域の特性や強みを活かしつつ、宿泊施設の誘致・整備を通じた地域活性化を図ることが、水俣市にとっての今後の課題であり、また機会でもあると言える。



# 視察報告書

作成者：吉野 誠

## 【現地視察】 円頓寺商店街について

### 円頓寺商店街

名古屋市西区那古野 1 丁目にある円頓寺商店街振興組合は、現在約 30 店舗が軒を連ねるアーケード商店街です。明治から続く老舗店も点在する中、個性豊かな新しい店舗も次々とオープンしている。

近隣に暮らす人々の日常使いの商店街でありながら、週末は、どこか懐かしい雰囲気  
の円頓寺商店街を楽しもうと、観光客も多く訪れる場所。2015 年にはアーケードを  
改修し、モダンな姿に生まれ変わった。

### イベント

円頓寺商店街では、年間通して様々なイベントが行われている。毎月の定例イベント  
として第一土曜日・日曜日(変則あり)には、きものを着てご来街のお客様への特典が  
ある「円頓寺・四間道界限 着物日和」、毎月第一日曜日は有志団体「げんき会」によ  
るフリーマーケット「ごえん市」、毎月第三土曜日はハンドメイドの作品やアンティーク  
などが並ぶ夜のマーケット「円頓寺星空マーケット」が開催される。夏には 1956  
年から続く「円頓寺七夕まつり」、秋には「円頓寺秋のパリ祭」など、一年を通じて多  
くのイベントが行われている。

### 歴史

円頓寺商店街の歴史は江戸時代にさかのぼる。名古屋城築城の際、運送の要として作  
られた堀川を利用する人々がこの地で遊ぶようになったこと、寺社がこの地に移転し  
門前町として賑わうようになったこと、美濃路街道がそばを通り多くの人が行き交っ  
たこと、これらさまざまな要因から発展していったと言われている。

大正時代には商店同士の「親睦会」が成立し、催事などを団体で行うようになった。  
1938 年には「円頓寺商店街商業組合」と成るが、1943 年太平洋戦争が始まると組織  
は解散に至った。しかし終戦後すぐの 9 月 1 日から、焼け残った十数店が「新生会」

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

を立ち上げ、営業を始めた。

1962年商店街振興組合法成立の翌年、「円頓寺商店街振興組合」に組織改変を果たす。1964年にアーケードが完成し、以来、幾度かの改修を経て2015年に大きくリニューアルし、モダンな姿に生まれ変わった。

現在は、老舗と新店舗が混在する歴史ある商店街として、近隣の人々や観光客で日々賑わっている。

コメダコーヒーの創業者もこの商店街付近で創業した。

定期イベントとして「円頓寺・四間道界限着物日和」（毎月第一土日）

「ごえん市」フリーマーケット（毎月第一日曜日）

「円頓寺星空マーケット」（毎月第三土曜日）が開催される



## 所感

商店街を見て回った中で、円頓寺商店街と円頓寺本町商店街と道を挟んで2つの商店街があった。同じ商店街のグループのように見えたが、実際は別の商店街だということだ。話を聞いた中では、円頓寺商店街の方が、看板やHPなどを新しくし、オンラインショップも商店街のHPからアクセスできるようになっている。商店の世代交代なども、世襲ではなく、新しい人や、やりたい人を見つけて活性化を図ることに成功しているという話を聞くことができた。イベントなども多数行われており、活気がある雰囲気だ。近隣住民の日常使いの商店街でもあり、週末は観光客も多く訪れる。どこか懐かしい雰囲気を持ち、日常と観光の両面を併せ持っているともいえる。それぞれの店舗が魅力あるものを用意しようという意識を持っているように感じた。



# 視察報告書

作成者：吉野 誠

## 【現地視察】 トヨタ産業技術記念館

### 概要

トヨタ産業技術記念館は、愛知県名古屋市西区にある博物館で、トヨタ自動車の創業者である豊田佐吉の技術と精神を伝える場として設立された。

主な展示内容：トヨタ自動車の歴史、自動車製造技術、自動織機など

トヨタが元々始まった自動織機の歴史と技術展示。

豊田佐吉が発明した自動織機の実演など、織物産業における革新的技術を紹介。

トヨタ自動車の歴史と自動車製造技術の進化。

古いモデルから最新モデルまでの自動車が展示されており、自動車の技術発展を一目で見ることができる。カーデザインとエンジニアリングの過程を体験できるインタラクティブな展示も豊富。



# 視察報告書

作成者：吉野 誠

	<p>1950年代 日本の国情に合った純 国産技術によるクルマ づくり。主査制度を取 り入れ、主査が強いリ ーダーシップをとって 全員がひとつになって 取り組む</p>
	<p>海外市場でも通用する 高性能・高品質の追 及。日本での高速道路 整備、完成乗用車の輸 入の自由化という流れ から、性能・品質の向 上を目指しTQCの手法 を導入した。</p>
	<p>低価格で夢のある新し い大衆車を。ファミリ ーが夢を持てるクルマ という視点で作られた カローラ1100</p>

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

<p><b>1970年代</b> 様々な社会的技術課題に応えたクルマづくり Producing Automobiles that Satisfy a Wide Variety of Social Technology Issues</p> <p>1970年代の本格的な「エネルギー危機」の結果、大気汚染や交通事故の増加が社会問題となり、かつて未知の領域の高燃費による走行危険も発生するなど、自動車業界は未曾有の困難に直面した。トヨタは、この社会的技術課題に対応するクルマづくりを始めた。</p> <p>The full-scale introduction of motor vehicles in the 1970s brought with it the social problems of air pollution and increasing numbers of traffic accidents. With such concerns as fuel efficiency and safety, the industry entered uncharted territory. To cope with these challenges, Toyota began to develop cars that met the needs of society.</p> <p>排ガス対策 Exhaust Gas Measures</p>	<p>様々な社会的技術課題 に応えたクルマづくり 光学スモッグから排出 ガス対策 オイルショックから、 経済性に優れた車両の 開発 交通事故死亡者数史上 最多から 交通事故防止に向けた 安全技術の開発</p>
<p><b>1980年代</b> お客様ニーズの多様化に応えたクルマづくり Producing Automobiles that Satisfy Increasingly Diverse Customer Needs</p> <p>1980年代、国内市場では若者を中心に自動車へのニーズが多様化した。海外市場では、日本車の輸出が増大したことから欧米で過剰需要による弊害、日本の自動車メーカーは、現地生産に踏み出した。トヨタは、世界中のお客様の要望に対応した多様なクルマづくりを行うことになった。</p> <p>In the 1980s, automobile needs diversified for young drivers in particular in the Japanese market. In overseas markets, rapid expansion in exports with the United States and Europe led to an over-demand problem. To cope with these issues, Japanese manufacturers started local production. Toyota was determined to produce cars that meet the needs of people all around the world.</p> <p>多彩な車種展開と技術開発 Diverse Vehicle Model Expansion and Technical Development</p>	<p>若者を中心に自動車へ のニーズが多様化し、 きめ細やかなクルマづ くりを行った レクサスの開発から 「Yet の思想」 「源流対策」</p>
<p><b>1990年代以降</b> 地球環境に優しく、安全なクルマづくり Producing Automobiles that are Earth-friendly and Safe</p> <p>1990年代後半には、地球環境に優しく、安全なクルマづくりが求められた。トヨタは、地球環境に優しく、安全なクルマづくりを実現するために、安全性能の進化に取り組んだ。</p> <p>The latter part of the 1990s saw the need for cars that were gentle on the environment and safe. To meet these needs, Toyota focused on the evolution of safety performance.</p> <p>安全性能の進化 Evolution of Safety Performance</p>	<p>バブル経済崩壊と共に 使い捨て時代が終焉 し、循環型社会構築へ の転換が求められた。</p>

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

## 所感

トヨタ産業技術記念館を訪れ、トヨタの歴史について深い学びを得ることができました。紡績業の時代から現在に至るまで、トヨタが常に現状に満足せず、絶え間なく改良点を見出し、粘り強く改善を続けてきた姿勢が印象的だった。

トヨタが単に技術革新を追求するだけでなく、常に社会のニーズや課題に目を向け、それらを解決するための明確な目標を設定してきた姿勢が、従業員の意欲を高め、創造性を刺激する環境づくりにつながったのだろうと感じた。

展示を通じて、トヨタが自動織機から自動車産業へと事業を拡大していく過程も興味深く学ぶことができた。

記念館では環境技術や未来のモビリティに関する展示もあり、トヨタが現在直面している課題や将来のビジョンについても知ることができた。持続可能な社会の実現に向けた取り組みや、AI や IoT を活用した次世代の自動車開発など、トヨタが今後も革新を続けていく姿勢が感じられた。

この訪問を通じて、トヨタの成功は単なる偶然ではなく、社会のニーズを的確に捉え、明確な目標に向かって全社一丸となって努力を重ねてきた結果だということを強く実感できた。

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

## 【現地視察】 かわらまち夜間保育園

【住所】 〒460-0022 名古屋市中区金山 1-2-27

【電話】 052-323-2650

【FAX】 052-323-2369

【対象】 0歳（産休明け）～就学前

【定員】（かわらまち保育園）50名（かわらまち夜間保育園）30名

【開園日時】（かわらまち保育園）

【月曜～土曜】 7：00～24：00 【一時保育事業】 8：00～18：00

（かわらまち夜間保育園）

【月曜～土曜】 11：00～深夜1：00

<休日保育> 【日曜・祝日】 8：00～19：00（自主事業 19：00～24：00）

## 園の成り立ち

父母の働く実情に応じて早朝より深夜までの保育

共同保育所時代に、様々な時間帯で働く父母の要求や、ベビーホテルの悲惨な実態をみて始まった夜間保育。8年間の認可運動を経て、深夜1時までの夜間認可保育園として出発しました。2011年7月より昼間園 かわらまち保育園が併設されました。

## 事前質問と回答

Q.利用人数はどのくらいか

当園は保育園と夜間保育園が併設している形になっている。定員は50名と30名で夜間保育園には23名在籍しており、ほぼ休みなくみんな毎日くる。もともとは朝7時から深夜1時までを1つの園で行っていたが、負担が大きいため行政から二つに分けた

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

らどうかと提案があった。

Q.保護者の職業はどのようなか

・医療、福祉職は23名中3家庭、どちらかというとな間営業の仕事や自営業、学習塾講師、美容師、マスコミ関係などの職種の方が利用されている。昼間園は医療福祉系の利用が多い。

Q.保護者の勤務時間、園児の利用時間はどのようなか

・色んな働き方の人が集まっている園。例えばランチ営業、夜営業を行っている自営業のところはお迎えが夜12時になるなど。予約制の仕事だと夜間の利用。塾では夜間に合宿があるところなどがある。朝に延長保育を行っているので、朝必要な家庭は延長保育を利用するという形になる。

Q.園の運営に対し、市からの補助はあるか

・名古屋市から公私間格差是正制度というものがあり、民間社会福祉施設運営費補給金があり、人件費に使える。そのため運営のための人員確保が可能。

・夜間保育事業に対する延長保育事業として月2万7000円

## 主な質疑

Q.夜間保育園に対する声はどのようなものがあるか

・夜間保育を始める事に批判的な声もある中始まったが、今は社会の理解があるように感じる。必要だと思われている。職員の働き方にも必要なもの、他自治体でも観光を主軸にしているところは、全園に夜間保育園を要請しているところもある。

Q.夜間保育園はどのようにして始まったのか

NTTがあつて、看護婦で働くお母さん達が自力で保育園を始めたというのがスタートだったが、保護者の金銭的にもかなりきびしいものだった。当時はベビーホテル問題もあり、市から夜間保育園ならば認可するという流れがあり始まった。

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

Q. 労働者の確保についてどうしているか

・法人の中でも労働条件が違い、自分たちの福祉会の理念に共感してもらえる人に支えてもらっている。当福祉会では60歳を超えると子どもに直接かかわる事はできないとしている。年齢制限をしても人を確保できる要因として、前述した公私間格差是正制度が大きく、市の公務員と給料を同じにできている。子どもの安全を保てる年齢についての線引きについて、今は60だが65歳まで伸ばそうかという議論が法人間でも行われている。現在定年後は子ども相手ではない部分で活躍していただいている。

Q. 保育園の連盟などはあるか

愛知県内では、民設民営の保育園での連盟があり、情報共有を頻繁に行っている。その中でも若い人の所得を上げる事が一番の出生率対策ではないかという意見が出ている。

## 【所感】

今回の視察を通じて、市民からのニーズを受けてそれを福祉事業として成り立たせていくという形の大切さを強く感じた。水俣市も保育所等や、学童クラブなどは始めはなく、市民のニーズから数が増えていった経緯がある。しかし、人口減少に伴って、市立の保育所もなくなり民間だけの保育園が残るばかりとなってしまった現状は、今後の施策を考える上で重要な転換点だと考える。

名古屋市は公私間格差是正制度があり、その分運営に有利な状況ができている。しかし水俣市で同じことができるとはとても思わない。名古屋市はそのような補助がある分、定員に対しても園側が余裕をもって対応できているように感じた。一方で、愛知県外の地方自治体からは公私間格差是正制度があるから、保育士がみんな愛知に行ってしまうという声も聞く。これは地方の人材流出という別の課題を浮き彫りにしている。

自主財源が十分にある自治体とそうではない自治体を比べた時、いかに国や県の予算を使って予算化するのかというのがとても大事だという事を強く感じた。水俣市の規模や財政状況を考慮すると、例えば熊本県や国の地方創生関連の補助金を活用した保

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

育支援策の策定や、地域の特性を活かした独自の保育サービス（例：環境教育を取り入れた保育プログラム）の開発など、創意工夫が必要だろう。

若者の所得を上げる事が何よりの出生率対策という意見は私も同感である。保育士の確保は水俣市でもとても難しい課題となっているため、若者の流出を防ぎ、水俣市の子育て世帯が働ける環境を確保することが急務だ。そのためには、保育所の充実だけでなく、地域の主要産業である医療・福祉分野と連携した総合的な施策が必要だと考える。例えば、医療・福祉職向けの専門保育施設の設置や、保育士と医療・福祉職のキャリアパスを連携させるなど、地域の特性を活かした独自の取り組みが考えられる。

水俣市が持続的に成長するために必要な保育所へのアプローチは、単に数を増やすことではなく、地域の産業構造や将来ビジョンと連動した戦略的なものでなければならない。5年後、10年後の水俣市のあるべき姿を見据え、子育て支援、産業振興、人材育成を一体的に推進する総合的な施策の中で保育政策を位置づけていく必要がある。そのためには、市民、事業者、行政が一体となって議論を重ね、水俣市ならではの創造的な解決策を見出していくことが重要だ。

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

## 【資料】 条例の概要

### ホテル等新設交付金

**目的** 市内に新たにホテルを設置する事業者に対して支援を行い、観光振興及び地域経済の活性化を図ることを目的としている。

#### 認定要件

- **場所:** 市内の鉄道駅から1キロメートル以内、幹線道路に面する区域、または市長が特に必要と認める区域。
- **建築費:** 1億円以上。
- **客室数:** 50室以上。

#### 交付金の額

- **固定資産税及び都市計画税相当額:** ホテル新設後に課される固定資産税及び都市計画税相当額。ただし、1年度につき1億円を上限とする。
- **交付期間:** 当該家屋に最初に固定資産税及び都市計画税を課することとなった年度を初年度とし、5年度。

### ホテル等増設交付金

**目的** 既存のホテルにおいて客室の増加を図る事業者に対して支援を行い、宿泊施設の拡充を図ることを目的としている。

#### 認定要件

- **場所:** 市内の鉄道駅から1キロメートル以内、幹線道路に面する区域、または市長が特に必要と認める区域。
- **建築費:** 2,000万円以上。
- **客室数:** 10室以上増設し、増室後の客室数が50室以上。

# 視察報告書

作成者：吉野 誠

## 交付金の額

- **固定資産税及び都市計画税相当額:** 増設後に課される固定資産税及び都市計画税相当額。ただし、1年度につき1億円を上限とする。
- **交付期間:** 当該家屋に最初に固定資産税及び都市計画税を課することとなった年度を初年度とし、5年度。

## ホテル等事業運営交付金

**目的** 新設または増設されたホテルの事業運営を支援し、安定した運営を確保することを目的としている。

## 認定要件

- 新設または増設されたホテルが対象。
- 下水道使用料を負担すること。

## 交付金の額

- **下水道使用料相当額:** ホテルの事業運営にかかる下水道使用料の補助。
- **年間上限額:** 1年につき500万円（客室数が100室以上の場合は1,000万円）。
- **交付期間:** ホテル等の事業を開始した日の属する月から起算して60月（5年間）。